



2024年12月2日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
住 所 大阪市西区江戸堀二丁目6番33号
代表者名 代表取締役社長執行役員 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証スタンダード市場)
問合せ先 経営管理部部長 近藤 恵太
(TEL. 06-6448-1801)

シンガポールの ZKDigimax 社とのデジタルサイネージの拡販に関する業務提携のお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、シンガポールの ZKDigimax Pte. Ltd (以下、「ZKDIGIMAX 社」)、と日本国内でのデジタルサイネージの拡販に関する業務提携契約の締結を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社は、2023年12月に2024年10月期を初年度とする3か年の中期経営計画を策定し、2026年10月期に売上高50億円、営業利益7億5千万円を数値目標とし、『世界で唯一無二のアプローチで次の時代の競争優位性をつくる』を中期ビジョンとして掲げ、「シェア拡大」「機能拡大」「領域拡大」の3つを継続的基本戦略として高成長・高収益経営の実現に努めております。

当社は、セールスプロモーションのデジタル化の流れに対応するため、「機能拡大」戦略の一環として2021年よりデジタルサイネージ事業を開始し、ハード機器の販売に加えて、映像を配信できるCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の導入提案を積極的に進めてまいりました。

ZKDIGIMAX社は、PT Digital Mediatama Maxima Tbk(インドネシア証券取引所上場のデジタルソリューションやクラウドベースプラットフォームを提供する会社)とZKTECO Co., Ltd(中国深圳証券取引所上場の生体認証技術を使った製品やソリューションを提供する会社)の合弁企業として2023年に設立され、インドネシアにおいてデジタルサイネージのシェア90%を獲得しています。システム開発企業であるZKDIGIMAX社が製造するモニターは、システムとの相性が非常に良く、赤道付近の日本よりも過酷な環境下でも問題なく稼働する高性能な製品で、また、AIカメラと独自のシステムを連動させることで、来客の男女比率、通行量、滞在時間の分析などをシステム上で一元管理することが可能で、これらのデータを活用して、即時配信や配信予約が行えるシステムが構築されています。この技術は、インドネシア国内の2大コンビニエンスストアやファストフードチェーンなどの店舗で採用されており、現在14,000店舗以上、28,000面以上のモニターが稼働しており、日本を除く世界22ヵ国で導入さ

れています。日本国内でこれほどの数を稼働させているシステムは数少なく、当社が販売促進活動のDX化のスマートリテールソリューションとして ZKDIGIMAX 社のシステムを国内企業に販売することで、「シェア拡大」「機能拡大」を推進できると考えております。

2. 業務提携の内容

当社が、ZKDIGIMAX 社が製造したデジタルサイネージのモニター及び関連システムを日本国内で販売いたします。この一連の取引を円滑に実施し、国内企業にデジタルサイネージを使ったスマートリテールソリューションを拡販するため、ZKDIGIMAX 社と事業提携契約を締結いたします。

3. 業務提携先の概要

(1) 名称	ZKDigimax Pte. Ltd	
(2) 所在地	Teletech Park #03/32, 20 Science Park Road 117674 Singaporex	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Supardi Tan	
(4) 事業内容	デジタルサイネージ機器及び関連システムの製造販売	
(5) 資本金	20 百万ドル (USD) /日本円換算 3,000 百万円 (概算為替レート 1 USD=150 円で試算)	
(6) 設立年月日	2023 年 3 月 7 日	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

(注)「大株主及び持株比率」並びに「当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態」につきましては、情報が入手できず非開示としております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2024 年 12 月 2 日
(2) 契約締結日	2024 年 12 月 2 日

5. 今後の見通し

本件が当社の 2025 年 10 月期以降の業績に与える影響につきましては精査中ですが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上

シンガポールの ZKDigimax 社とデジタルサイネージ拡販に向けた業務提携

当社は、ZKDigimax Pte. Ltd（以下「ZKDIGIMAX 社」）と、日本国内でのデジタルサイネージ拡販に関する業務提携契約を締結しました。

■ 業務提携の背景と目的

当社は、2024年10月期を初年度とする中期経営計画において、「シェア拡大」「機能拡大」「領域拡大」を基本戦略に掲げ、事業拡大を進めています。このたび、2021年に開始したデジタルサイネージ事業をさらに強化するため、ZKDIGIMAX 社と業務提携契約を締結いたしました。ZKDIGIMAX 社は、インドネシアのデジタルサイネージ市場で90%のシェアを占める企業であり、同社が製造する高性能モニターおよびAI対応システムは、即時配信や来客属性の分析など、多彩な機能を備えており、ZKDIGIMAX 社のシステムを国内企業に販売することで、「シェア拡大」「機能拡大」を推進できると考えております。

ZK DIGIMAX



■ スマートリテールソリューションの提案

ZKDIGIMAX 社の製品は、AI カメラと独自のシステムを連動させることで、来客の男女比率、通行量、滞在時間の分析などをシステム上で一元管理することが可能で、これらのデータを活用して即時配信や配信予約が行えるシステムが構築されています。インドネシア国内では2大コンビニエンスストアやファーストフードチェーンに採用され、14,000店舗以上、世界22カ国で導入されています。当社は、ZKDIGIMAX 社製のデジタルサイネージ製品および関連システムを日本国内の企業に販売し、小売業の効率化と顧客体験向上を支援するサービスを提供します。これにより、スマートリテールソリューションを提案し、新たな市場を開拓してまいります。



画像はイメージです。

■ 今後の展望

ZKDIGIMAX 社との連携を一層深め、デジタルサイネージの国内市場でのシェア拡大を図ります。当社は、引き続き高成長・高収益経営を目指し、事業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ビーアンドピー デジタルクリエイティブ事業部

TEL: 03-3553-5558 https://www.bandp.co.jp/digital_signage/